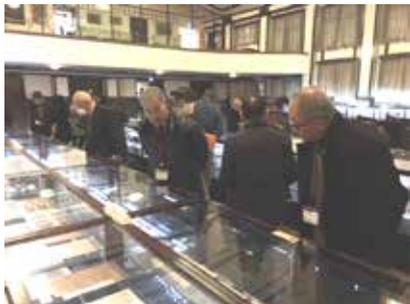


小田原地区募集相談員会「市ヶ谷台ツアー」を支援



市ヶ谷記念館にて展示品を見学する募集相談員



市ヶ谷記念館を見学した小田原地区募集相談員会

神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 米田一陸尉）は、11月30日（木）、小田原地区募集相談員会12名の「市ヶ谷台ツアー」を支援した。

まず、最初に儀仗広場にて防衛省各棟の説明を受けた後、市ヶ谷記念館を見学し、市ヶ谷台の変遷や数多くの歴史的展示物について知った参加者たちは、その歴史的歩みと希少さに感慨深さを覚えている様子だった。

その後、屋外ヘリ展示場、厚生棟、広報展示室などを見学した相談員は「ツアーを通じ防衛に関する重要性を深く認識することができた」と話した。

小田原地域事務所は、募集相談員に対し自衛隊への理解増進を図ることができた。今後も各種研修等を通じて、募集相談員会との連携を深め、募集成果に繋がっていきたいとしている。

昨春入隊の護衛艦「たかなみ」隊員が近況報告に来所

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤一空尉）は、12月25日（月）、昨春に市ヶ尾募集案内所を通じて海上自衛隊に入隊した矢部一樹一士の近況報告を受けた。

矢部一士は横須賀教育隊で教育課程を修業後、横須賀基地所属の護衛艦「たかなみ」に勤務し、昨夏広報官が艦を訪ねた際には「まだまだ学ぶことが多く大変ですが、頑張っています」と話していた。また、昨年10月7日、8日に行なわれた「第44回川崎みなと祭り」での艦艇公開にあたり川崎港東扇島埠頭に寄港した折には、先輩隊員の指示に従い岸壁の整備など懸命に勤務にあたっていた。

来所した矢部一士は「訓練で初めて外洋に行きました。大きく揺れて、大海を体験することができました」などと船乗りらしい体験談を笑顔で話し、今後は幹部を目指し、試験に挑戦する予定だという。

市ヶ尾募集案内所は、自衛官として成長していく姿を見るのは、広報官にとって何よりの励みとなった。入隊者からの体験談は、現場の生の声として募集活動に活かし、入隊者の獲得につなげていきたいとしている。



近況報告に訪れた矢部一士